

人間の心理・行動や関連事項の測定・評価

鷲見克典 (社会工学専攻)

技術概要

主観的な「こと」や、計測困難と感じられる「こと」を測定するための「尺度」の開発技術を提供します。信頼性と妥当性を備えた有用な「尺度」の開発が可能です。

背景・従来技術

例えば情報管理能力、特定作業への意欲、精神的な疲労など、人間の心理・行動は主観的で捉えにくく、定量化や評価が困難に感じられます。

また、ウェブサイトの良し悪しや製品の出来具合など、主観的とはいえなくとも、どのように測定・評価すべきか不明確なものもあります。

さらに、何らかの方法で測定し、結果を定量化できていても、そうした結果が相応しいと言

えるか、有用か不明な場合もあります。

特徴

人間の心理・行動にまつわる「とらえにくいこと」「定性的なこと」を、「尺度」を作成して測定することで定量化し、データ解析が可能になる等の利点が生れます（測定が難しい対象もあります）。

実用化イメージ

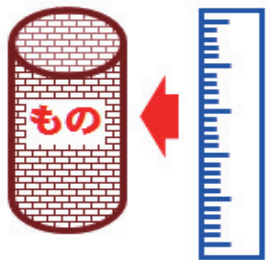
測定・評価したい対象について詳しく検討し、必要に応じて過去研究を参照して、いくつかの質問項目によって構成する「尺度」を作成します。この「尺度」は、一定量のサンプル（例えば利用者）から得た「尺度」への回答を基に、「尺度」の有用性を確立することで実用化されます。

「測りにくいこと」を測る技術を提供します

「測りにくいこと」を測る技術

a. 物の計測

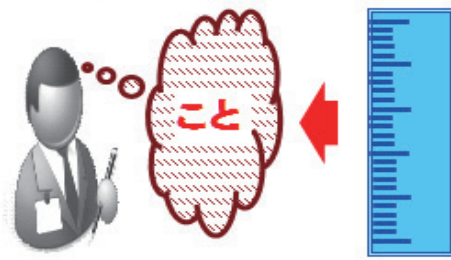
例 物理量



一般の計測機器

b. 測りにくいことの計測

例 人の心理/行動, マネジメントの効果, システムの満足度



特殊なものさし

従業員への処遇, 教育/訓練, 業務/製品の改善/再設計等に活用

企業への提案

研究者から企業へのメッセージ

有用性のある「尺度」を個人や成果の評価、教育・訓練、業務の改善・再設計などへの利用といった「尺度」の応用・展開についても助言できます。

文献・特許

- ・ 鷲見克典「ワーク・コミットメントとストレスに関する研究」風間書房 (2006)
- ・ 鷲見克典ほか「調べるためのウェブサイト評価」三恵社 (2007)
- ・ 鷲見克典「知覚されたストレス尺度日本語版における信頼性と妥当性の検討」健康心理学研究 (2007)

共同研究を希望するテーマ

- ・ 商品・サービスの利用結果（満足感など）の測定
- ・ 組織内のコミュニケーションの有効性の検証
- ・ 対人関係（上司・部下など）の状態の評価
- ・ 企業内研修の効果の評価
- ・ 従業員に対する各種施策の効果の測定
- ・ 各種システムの利用者の態度測定

試作品状況

無 提示可 提供可